

## B-29 人体研究を基にしたる衣服の造型美について

### (第3報) 一和服寸法の一考察一

京都女子大学○観月幸代・中岡花子

さきに関西支部総会に於て、衣服構成は人体研究を基にせねばならぬことと、日本女性の体型を把握するために、生体測定を行っていることを述べ測定結果を報告したが、私はこれと平行して、最も単純な平面構成である和服寸法を、体型を基にして如何に決定すべきであろうかを考察して見た。勿論和服は着装によって体型に合致させる形態のものであるとは云え、全体の統一された美を發揮するためには、所謂標準寸法の増減によって作製されるのではなく、人体を基にして寸法を考察してこそ着装者の衣服衣を、より發揮し得るのではなからうかとの観点より寸法を検討して見た。